

うつのみや



社協だより

令和3年7月1日 発行

編集発行 **181**号

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索

**令和
3年度**

**日本赤十字社「活動資金」にご協力をお願いします
赤十字活動は皆さまに支えられています！**

日本赤十字社が実施している国際救援活動や国内の災害救護活動、また身近に行われている救急法などの講習普及事業、学校等で行う青少年赤十字活動(JRC)などのさまざまな活動は、財政面で支援する「協力会員／会員」の皆さまからの「会費」と、広く皆さまからお寄せいただく「寄附金」を合わせた、「活動資金(社資)」によって支えられています。

赤十字の趣旨・事業活動をご理解いただき、ご支援ご協力をお願いします。

※日赤社資は、皆さまの意思に基づくもの(任意)であり、強制するものではありません。

「協力会員」と「会員」の違い

協力会員：年額500円以上 会員：年額2,000円以上

日本赤十字社 栃木県支部の活動紹介



▲医療救護活動(地震、台風、感染症)



▲横浜クルーズ船の感染症対応



▲救援物資配付(足利山林火災)



▲救急法などの講習の実施



大切な人を思う時。
赤十字が動く時。
誰かを助けるという活動は、
誰かの心を守ることに、誰かの命を
守ることに繋がります。災害の現場で
活動するボランティアや、心と心
を繋ぐボランティア活動など、さまざまな
活動を通して、社会の発展に貢献しています。
赤十字は、災害の現場で活動するだけでなく、
日常生活でも活動しています。

救いを託されている。

※本報掲載の活動内容は、あくまで参考情報です。
最新情報は毎月5.31(土)～31(土)まで

〒320-0801 宇都宮市南大谷5-1-1 日本赤十字社
QRコード



詳しくは、
日本赤十字社
ホームページを
ご覧ください。

+日本赤十字社

www.jrc.or.jp

+日本赤十字社栃木県支部

<http://www.jrc.or.jp/chapter/tochigi/>

電話 622-4327



令和2年度は、42,927,854円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

※8ページに、令和3年度日赤栃木県支部の予算概要を掲載しております。

“うつのみや社協だより”は、**回覧**です。よろしくお願ひ申し上げます。





会長就任のごあいさつ 新会長に 手塚 英和 氏 選任

横松薫会長が退任され、令和3年4月1日に開催されました理事会におきまして、後任に、手塚英和氏が選任されました。

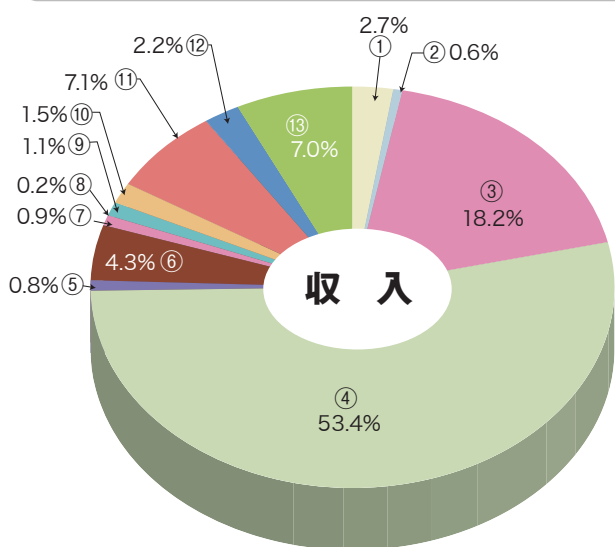
この度、会長に就任いたしました手塚でございます。地域の皆さまには、日頃から社会福祉協議会の事業推進にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本会は、地域福祉を推進する団体として、地域の生活・福祉課題の解決のため、「第4次宇都宮市地域福祉活動計画」に基づき、地区社協や自治会連合会、民生委員児童委員協議会等の関係機関と連携し、ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域社会の実現を目指しております。

これからも、地域の皆さまと共に福祉活動を展開してまいりますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

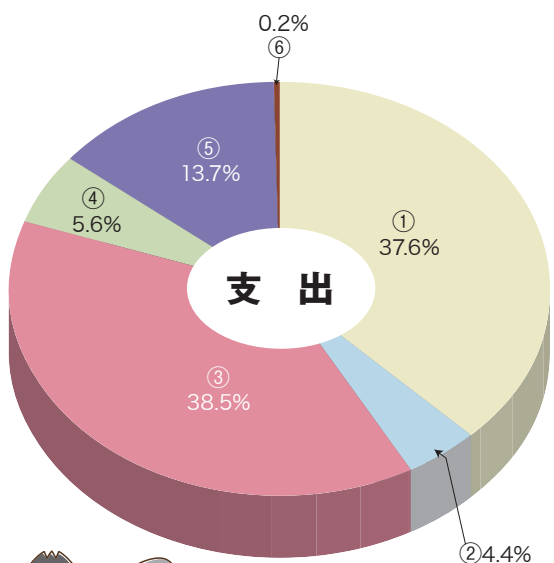
令和2年度 宇都宮市社会福祉協議会 決算報告

収入 1,245,032千円



科目	金額(千円)
① 会費収入	34,016
② 寄付金収入	7,091
③ 補助金収入	226,781
④ 受託金収入	664,773
⑤ 事業収入	9,904
⑥ 介護保険事業収入	53,967
⑦ 障害福祉サービス等事業収入	11,578
⑧ 受取利息配当金収入	2,310
⑨ その他の収入	13,371
⑩ 基金積立資産取崩収入	18,301
⑪ 繰入金収入	88,968
⑫ その他の活動収入	26,847
⑬ 前年度繰越金	87,125

支出 1,141,807千円



科目	金額(千円)
① 地域福祉事業 法人運営、福祉活動推進事業、ボランティアセンター事業、総合相談センター事業、権利擁護・成年後見センター事業、がんなん基金事業、善意銀行事業、共同募金配分金事業	429,735
② 福祉資金貸付事業 生活福祉資金・社会福祉資金	49,702
③ 指定管理事業 老人福祉センター(5施設)、地域活動支援センター(2施設)、障がい者福祉センター、総合福祉センター(2施設)	439,145
④ 介護保険等事業 訪問介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業	64,294
⑤ 受託事業 地域包括支援センター(2施設)、障がい者福祉バス、障がい者生活支援事業、日中一時支援事業、生活困窮者自立相談支援事業	156,175
⑥ 在宅福祉サービス事業 ファミリーケアサービス事業	2,756

次年度繰越 103,225千円

令和
2年度

宇都宮市社会福祉協議会 事業報告

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援

① 出前福祉共育講座の充実(延 45 回 / 延 1,528 人)



② 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催(中止)

③ 地区福祉まつり支援の充実(中止)

※ 全地区で地区福祉まつりが中止。

④ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実(中止)

※ 表彰のみ実施。

⑤ やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実(構成団体へのアンケート調査実施)

(2) 気軽に参加・参画できる募金活動やボランティア活動の充実

① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動

ア. 赤い羽根共同募金運動 33,805,461 円

イ. 歳末たすけあい募金運動 19,638,381 円

② 歳末たすけあい事業配分委員会の開催

③ ボランティアセンター機能の充実

ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実

(各種相談・問い合わせ 延 7,924 件)

(団体登録 365 団体 / 11,960 人)(個人登録 46 人)

イ. ボランティア団体への活動支援の推進

④ ボランティア養成の充実(各種講座の実施)

⑤ 善意銀行事業の推進

金銭・物品の預託、払出しの実施

⑥ 宇都宮市高齢者等地域活動支援[※]イノ事業の推進

(登録団体 542 団体 / 事業対象者数 13,751 人)

(3) 災害ボランティア活動の実施

① 災害時の連携体制の構築に向けた取組み(研修延期)

② 大規模災害に備えた備品の備蓄

③ 宇都宮市総合防災訓練への参加(中止)

(4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり

① ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実

② 食中毒・食品衛生講習会の開催(中止)

※ 食中毒・食費衛生に関する資料を送付。

③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進

(39 地区 316 箇所設置)

④ ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催(中止)

※ サロン運営に係る資料送付。

※ アンケート調査および調査結果等を送付。

⑤ 男性高齢者調理講習会事業への支援

(各地区合計 23 回 / 延 187 人参加)

2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり

(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化

① 広報紙「社協だより」の発行(年 4 回 / 各 21,000 部)

② ホームページの充実(月平均 約 4,000 件閲覧)

③ 福祉に関する情報発信機能の充実

④ 地区社協広報紙の発行助成

(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実

① 日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

(契約者 94 人 / 相談件数 延 2,797 件)

② 法人後見事業の実施(受任件数 7 件 / 相談件数 69 件)

③ 総合相談センター(心配ごと・悩みごと相談センター)

事業の充実(開設回数 延 241 回 / 相談件数 803 件)

④ 生活困窮者自立相談支援事業の実施

(新規相談 4,836 件 / 計画作成 429 件 / 支援回数 12,206 件)

⑤ 地域包括支援センター事業の充実

地域包括支援センター御本丸・上河内地域包括支援センター

⑥ 障がい者生活支援センター事業の実施

(利用者 延 1,011 人 / 相談件数 延 2,236 件)

※ 令和 3 年 3 月 31 日をもって受託終了

(3) 地域福祉推進のための施設や人材、情報などの活用による福祉の基盤づくり

3. とともに支えあう地域社会づくり

(1) 身近な地域の中での住民相互の支えあい助けあい活動の充実

① 福祉協力員制度の推進(39 地区 2,557 人)

② ブロック別福祉協力員表彰式・研修会の開催(中止)

※ 表彰状を個別に郵送。受賞者名を広報に掲載

③ 安心・安全情報キット配付事業の推進

(累計 39 地区 / 22,006 本)

④ ファミリーケアサービス事業の充実

⑤ 地域の子どもたちへの地域福祉事業の検討

⑥ 老人クラブ支援の充実(293クラブ / 会員 16,071 人)

⑦ 敬老会開催の支援

⑧ 援護事業の実施

⑨ 社会福祉資金貸付事業(債権管理のみ)

⑩ 各種事業に対する後援・共催

- (2) 身近な地域の中での多様な居場所づくり
 - ①地域の福祉施設などを活用した市民の交流の促進
- (3) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援
 - ①第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進
 - ②第4次宇都宮市地域福祉活動計画の効果的な推進に向けた「検討委員会」「作業部会」の開催
 - ③地域福祉事業運営委員会の開催
 - ④地区社会福祉協議会支援の充実
 - ※地区担当職員6人配置

- ⑤福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定及び推進の支援



⑥地区社会福祉協議会会長研修会の開催(中止)

4. 在宅福祉サービス事業の推進

- (1) 様々なニーズに応じたサービスの提供
 - ①福祉機器(車いすなど)貸出事業の推進
(延258件)
 - ②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進
(申請者138人 / 補助券発行枚数 646枚)
 - ③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進
(利用者 延4,320人 / 配達本数 延51,040本)
 - ④福祉機器・介護用品展示室の開設

5. 組織体制の強化

- (1) 会務の運営
 - 理事会・監事会・評議員会等の開催
- (2) 苦情解決体制
 - 第三者委員会の開催
- (3) 地区社会福祉協議会との連携強化
 - ①地区社会福祉協議会会長会議の開催
 - ②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催(中止)
- (4) 職員育成
 - 職員研修の実施(リスクマネジメント研修)

6. 自主財源の確保

- (1) 社会福祉協議会会員制度の充実
- (2) ぎんなん基金事業の充実
 - ①ぎんなん基金の運用(寄附873件/6,308,744円)
 - ②ぎんなん基金運営委員会の開催
 - ③ぎんなん基金の「新たな助成対象事業」説明会の開催
 - ④ぎんなん基金の効果的運用に向けた「検討部会」「作業部会」の開催

- (5) 特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営

8. 指定管理施設の管理・経営

- (1) 総合福祉センターの管理・経営(2施設)
 - 宇都宮市総合福祉センター・河内総合福祉センター
- (2) 老人福祉センターの管理・経営(5施設)
 - ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘・上河内老人福祉センター
- (3) 地域活動支援センターの管理・経営(3施設)
 - 雀の宮作業所・若草作業所・障がい者福祉センター
- (4) 指定管理施設の管理・経営の充実
 - ①事業経営委員会の開催

7. 介護保険事業等の推進

- (1) 訪問介護事業所の運営
- (2) 居宅介護支援事業所の運営
- (3) 通所介護事業所の運営
- (4) 障がい福祉サービス事業の運営

9. 受託事業の実施

- (1) 宇都宮市からの受託事業
 - ①障がい者生活支援センター事業の実施
 - ②日中一時支援事業の実施(利用者 延2,890人)
 - あっとほーむ・すすめ/あっとほーむ・うだい
 - あっとほーむ・かわち/河内地域活動支援事業所
 - ③障がい者福祉バス事業の実施
(利用団体 延39団体/利用者 延593人)
 - ※令和3年3月31日をもって受託終了
 - ④各種奉仕員養成講座の実施(手話・点訳・音訳)

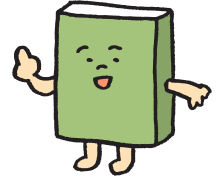
- ⑤宇都宮市意思疎通支援事業(要約筆記者派遣事業)の実施
(派遣20件/活動者 29人)
- ⑥宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施
- ⑦生活困窮者自立相談支援事業の実施
- ⑧地域包括支援センター事業の充実
- ⑨移動支援事業の実施
- (2) 栃木県社会福祉協議会からの受託事業
 - ①生活福祉資金等貸付事業の実施
 - ※新型コロナ特例貸付(緊急小口 5,278件)
 - (総合支援 7,820件)
 - ②日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

ボラセン
情報コーナー



ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します

出前福祉共育講座



ボランティアセンターでは、障がいのある方々や地域のボランティアの方々の協力のもと、「学校」「地域」「企業」などすべての市民を対象に出前福祉共育講座を実施しています。

この講座は、障がいのある方の「できないこと、困っていること」に目を向けるのではなく、実際に福祉の体験をしながら「障がいがあっても、自分でできることがたくさんある」「支援が必要な時と、そうでない時がある」といったことに参加者自身が気づき、理解することを目的に行っています。

福祉について考え、理解を深める機会として、ぜひご利用ください。

講座メニュー

●「視覚」障がいを学ぼう

- ・アイマスク体験
- ・点字体験
- ・盲導犬体験



▲点字体験講座の様子▲



●「聴覚」障がいを学ぼう

- ・手話体験

●「身体」障がいを学ぼう

- ・車いす介助体験

●ボランティアってどんな活動？

- ・ボランティア講話

●ふくしの心を育てよう！

- ・ふくしの心を育てるための基本講話



▲手話体験講座の様子▲



お願い

- ※実施希望日の2ヶ月以上前を目安に計画してください。
- ※新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止対策の徹底をお願いします。
- ・広い会場にて実施し3密を避け、換気を行う。
- ・手指消毒の準備、マスクの着用
- ・使用機材の消毒 など

※ご利用の手引きや申請書類については、ボラセンHPの

ボラセンの事業 → [出前福祉共育講座](#)にてご確認ください。



▲車いす介助体験講座の様子

善意銀行

ご協力ありがとうございました。
皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。

使用済み切手やプルタブによる益金は、宇都宮市内の地域福祉活動やボランティア活動の推進・支援に活用させていただきます。

寄附順・敬称略

令和3年3月～令和3年4月

預託者名	預託品等	預託者名	預託品等
茂原西自治会	プルタブ	石網 正 (2回)	プルタブ・使用済切手・使用済レタ
福祉劇団やすらぎ 代表 長島 丞生	使用済切手	(株)増渕組	使用済切手
ゆたか団地 豊寿会 (2回)	プルタブ	鱒淵 光男	プルタブ
沼子 典司 (3回)	プルタブ	斉藤 雅子	プルタブ
社会福祉法人 共生会	使用済切手	矢野 明子	使用済切手
栃木県中部郵便局	使用済切手	おしゃべりサロン・小幡	プルタブ
山口 武	プルタブ・使用済切手	三信電工(株)	プルタブ・使用済切手
宇都宮マロニエライオンズクラブ	使用済切手	(有)清明建設	使用済切手
宇都宮商工会議所 女性部	プルタブ・使用済切手	匿名	2,000 円
宇都宮市立細谷小学校 PTA4学部会	使用済切手	損保ジャパンパートナーズ栃木支店	使用済切手
(株)栃木銀行	プルタブ・使用済切手・はがき等	釜井台有志一同	プルタブ
奈坪ニュータウン悠遊会	プルタブ	原田 アイ子	プルタブ
NPO法人 ひとつの花	使用済切手	王子工営関東(株)	使用済切手
うつのみや市商工会 女性部	プルタブ・使用済切手		

【お問い合わせ】 ボランティアセンター（総合福祉センター8階）電話 636-1285 FAX 634-2870

ホームページもご覧ください。 [宇都宮市社協ボラセン](#)



令和3年度宇都宮市社会福祉協議会「福祉協力員表彰受賞者」

受賞おめでとーうございます

【20年表彰受賞者】(5地区8名)

(敬称略)

1	東地区	鳥居 利一郎	4	石井地区	仁科 昭則	7	五代若松原地区	安生 啓子
2	西地区	阿部 富江	5	姿川地区	今泉 勇	8	〃	奥田 久江
3	〃	枝 通子	6	〃	吉澤 ヒロ			

【10年表彰受賞者】(29地区130名)

(敬称略)

1	中央地区	斎藤 高蔵	45	桜地区	田中 信子	89	瑞穂野地区	増 淵 幸子
2	〃	嶋田 絹子	46	宝木地区	圓岡 春枝	90	〃	田崎 恭子
3	〃	橋本 悦子	47	〃	渡邊 こずえ	91	〃	高田 礼子
4	〃	大塚 久美子	48	富士見地区	菅原 光子	92	雀宮地区	佐藤 智恵
5	〃	染谷 よし子	49	〃	石田 美江子	93	〃	鈴木 千代子
6	〃	永井 陽子	50	〃	青柳 幸恵	94	〃	遠藤 恵子
7	〃	宮本 隆昌	51	〃	杉本 正恵	95	〃	時任 潤朗
8	〃	橋本 和枝	52	〃	森 都子	96	五代若松原地区	井 敬子
9	〃	栃木 洋子	53	〃	半田 壽子	97	〃	藤田 久子
10	東地区	青柳 美佐子	54	〃	浅井 恵美子	98	御幸地区	築瀬 キヨ子
11	西地区	佐藤 節子	55	姿川地区	小山 英子	99	〃	野中 晶子
12	〃	木村 泰子	56	〃	権田 道子	100	〃	三浦 好美
13	〃	佐藤 由美	57	〃	小林 金彌	101	〃	安野 アヤ子
14	〃	国分 亮子	58	〃	鈴木 尚子	102	御幸ヶ原地区	麦倉 トモ子
15	〃	伊藤 和子	59	〃	高橋 静子	103	〃	長島 とよ子
16	〃	水沼 幸子	60	〃	今野 友子	104	〃	藤田 ヒロ子
17	〃	北条 米子	61	〃	大根田佳世子	105	〃	安齊 早苗
18	〃	池田 裕安	62	〃	神田 政男	106	〃	五味 宮子
19	〃	榆木 桂子	63	〃	石崎 やす子	107	篠井地区	齋藤 泰子
20	〃	高橋 カク子	64	〃	青木 久子	108	豊郷地区	藤村 ヨシ子
21	西原地区	北條 孝次	65	〃	佐藤 正章	109	〃	上野 昌子
22	〃	吉間 和子	66	〃	中世古 道子	110	〃	古澤 芳子
23	昭和地区	高橋 保夫	67	〃	小林 愛子	111	〃	稲葉 久美子
24	錦地区	釜井 いつ子	68	〃	中郡 初美	112	〃	高橋 正文
25	〃	佐藤 清子	69	〃	小川 静子	113	〃	大河原 正光
26	〃	野澤 佳子	70	〃	福田 志津子	114	〃	岡川 幹子
27	〃	山角 房子	71	細谷・上戸祭地区	阿部 文子	115	〃	橋本 浪子
28	城東地区	吉澤 由紀子	72	〃	神山 ミヤ子	116	〃	山崎 恵子
29	〃	根本 美子	73	〃	酒井 政代	117	〃	鈴木 八奈子
30	〃	村上 武子	74	〃	森山 公子	118	〃	中山 幸子
31	今泉地区	生出 志げ子	75	陽南地区	伊藤 初代	119	〃	濱口 京子
32	泉が丘地区	大塚 隆子	76	〃	戸崎 淳子	120	〃	上野 敬子
33	石井地区	菊地 好太郎	77	〃	柏木 優子	121	〃	上村 芳子
34	〃	菊池 芳夫	78	緑が丘地区	福田 恭明	122	〃	水島 邦男
35	〃	兼子 明	79	陽光地区	後藤 光子	123	〃	茂木 恭二
36	〃	上田 陽介	80	宮の原地区	木村 トミ	124	〃	高橋 美明
37	〃	吉田 悦子	81	〃	小野瀬 トキ	125	〃	山下 京子
38	〃	福田 靖	82	〃	正田 泰子	126	〃	亀井 友子
39	〃	野崎 和子	83	〃	増子 節子	127	〃	大金 典子
40	〃	森 友子	84	〃	荒井 祥乃	128	河内地区	中野 滋
41	〃	稲川 尠子	85	横川地区	江田 幸代	129	〃	宮下 恵子
42	〃	吉澤 美津子	86	〃	黒後 君子	130	〃	増田 悦子
43	〃	田崎 キミ子	87	〃	星 幸子			
44	清原地区	高橋 弘子	88	〃	佐藤 清子			

姿川地区
社会福祉
協議会

コロナだから、できたこと

「あおぞらサロン」

～感染対策をしながら、繋がりを大切に～

令和2年度に立ち上がったサロン。新型コロナウイルス感染症の影響がある中ですが、福祉協力員さんの「**こういう時だからこそ、繋がりを大切にしたい**」という想いから立ち上がりました。感染リスクへの不安から、スタッフ自身も心配な気持ちを抱えていましたが、「**できること**」を考えて前向きに取り組んでいます。

参加されている方からも「**やってみて楽しい!**」「**こういう場所があるのは嬉しい**」という声をいただいています。

サロンスタッフ・参加者の方にお話を伺いました

Q 今日の活動内容は?

A: 今日は**ペタンク**です!今は、コロナウイルスが心配なので、ペタンクや輪投げなど、外での活動をメインに行っています。特に点数などで競うものは、気合いが入ります!

今は**コロナウイルスの影響を見ながら、活動の内容を決めています。**

また天候によって、集会所でも活動ができるように、漢字当てはめゲームや謎解きなども考えて、準備をしています。



▲競い合いながらも、拍手でお互いを応援します。



Q どのような感染対策をしていますか?

A: 来たらまず**検温!**参加された方が分かるように**記録**を残しています。それから、**手指の消毒、マスク着用**もしっかり行います。

また、距離が近くなったら「**密になってるよ**」と**お互いに声をかけ合ったり**、活動をする際には**ビニール手袋を着用**するなど、工夫をしています。

これからの時期は、**熱中症の心配**もあるので**水分補給**などもしっかり行っていきます!

Q 活動してみているいかがですか?

A: コロナウイルスの影響もあり、サロンを**開催するときには、やはり気を張ります。**

しかし、サロンをやってみて「**参加したい!**」と人が来てくれることや、**人との繋がりを持てる場所**があることは、とても嬉しいです。地域の中に、**集える場所があるのは大きい!**

チラシを作成して貼ったり、**ポスティング**をしてみたり、**直接お声かけ**してみたり、様々な工夫をしながら周知をしています。コロナウイルスの影響で、活動が難しいこともあるけれど、協力しながら、これからもサロン活動を続けていきたいです。

▼スタッフと、本日参加メンバーの皆さん。



▼感染対策グッズも
しっかり準備!



▲チラシを作って、地域に周知しています。

～ふれあい・いきいきサロンのお問い合わせは下記まで～
地域福祉課(総合福祉センター5階)
電話: 636-1215 FAX: 637-2020

日本赤十字社 栃木県支部の令和3年度予算概要

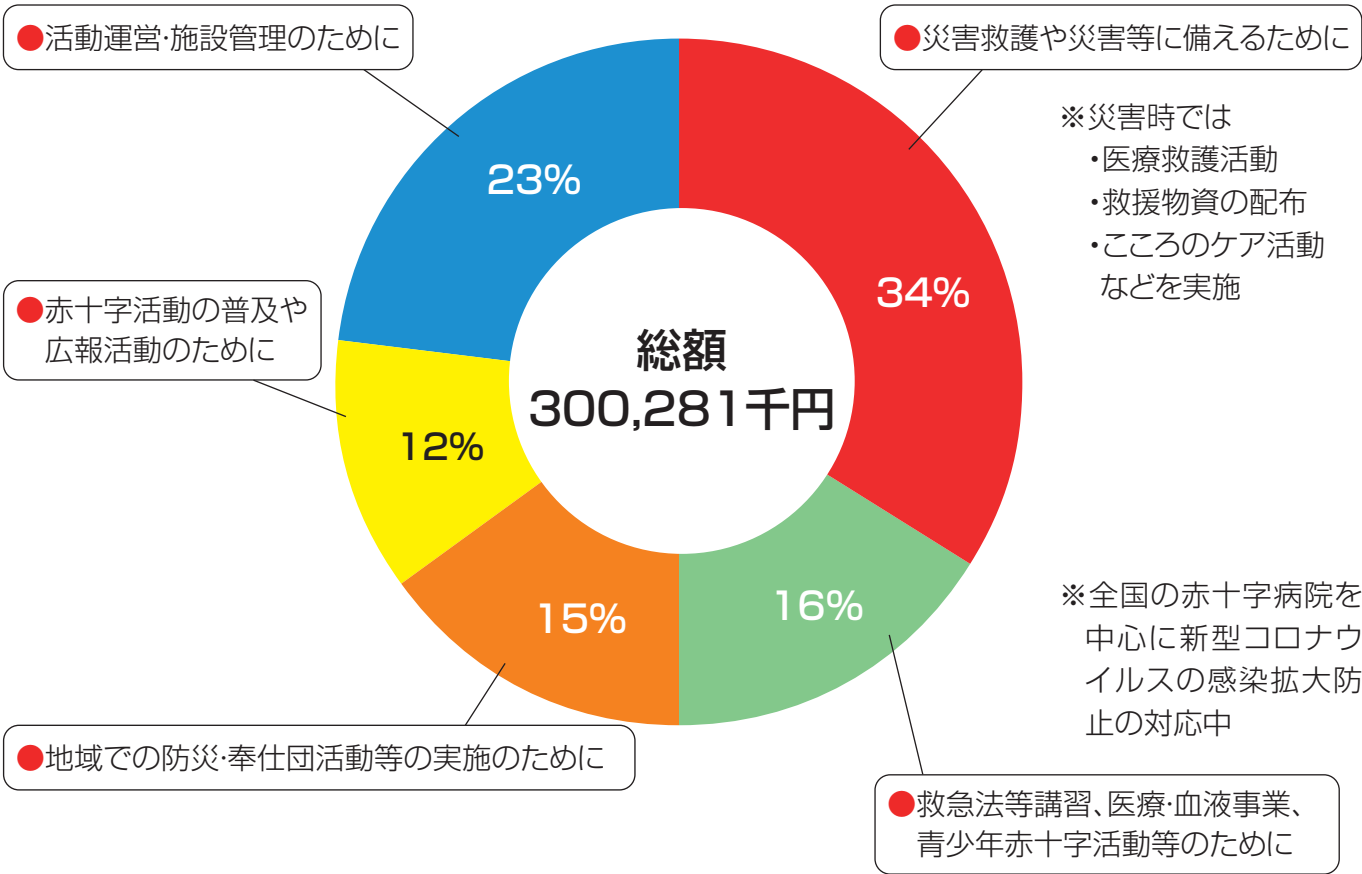
日本赤十字社栃木県支部は、「人道」を理念に国際救援・開発協力、災害救護、安全講習会普及、ボランティア活動、青少年赤十字活動、国際人道法普及など、さまざまな活動を行っています。

これらの活動は、皆さまからお寄せいただいた活動資金や寄付を財源としています。

また、県内には芳賀・那須・足利赤十字病院、栃木県赤十字血液センターがあり、同じく「人道」を理念に医療事業、血液事業を行っています。

更に、栃木県内全ての地域の人々に赤十字の活動が届くよう、県内各市町には、赤十字事業の推進を担う事務局(地区・分区)が設置されています。

赤十字ボランティアをはじめとする多くの方々によって栃木県支部の活動は支えられています。



ぎんなん基金

ご協力ありがとうございました。
皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

令和3年3月～5月 寄附順・敬称略

寄附者(団体)	金額(円)	寄附者(団体)	金額(円)
匿名	871	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	7,000
関東西濃運輸労働組合宇都宮支部	130,000		

令和2年度の寄附総額 累計 6,308,744円

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

【お問い合わせ】総務企画課(総合福祉センター1階) 電話636-1215 FAX638-9856